

今年もあと1ヶ月余りとなりました。学級づくりの視点から1年を振り返ると、どのような姿が思い出されますか。子どもたちと共に創り上げた学級活動を通して、成長した姿をたくさん見つけることができましたことと思います。子どもたちとこれまでの取組を振り返り、2学期及び1年の締めくくりをして、穏やかに年末年始を迎えることができるようにしていきましょう。



<小・中学校>

保護者懇談会で信頼関係づくり

保護者懇談会は、日頃の子どもの様子を保護者の方に伝えると同時に、保護者の方との信頼関係をつくる機会です。そのためにも、次の点を大切に懇談を進めてみましょう。



○保護者の願いや悩みを傾聴し、共感しながら学校・家庭での支援の方向について共通理解を図りましょう。

○その子の活動の様子がわかるものを用意したり、具体的なエピソードを語ったりすることで、その子のよさを認め、さらに伸ばしていきたい点を確認しましょう。特に、学習面はグラフやチャート図など分かりやすい資料を使って話すことで、伝えたい内容が明確になります。

懇談会でどのような話をするか、学年会等で事前に打ち合わせをしておくことも大切です。単級の学校では、他学年の先生方にもどのようなことを話題にするのかを聞いてみるとよいでしょう。

保護者の方と支援の方向を共有し、3学期からの子どもの成長につなげましょう。

インフルエンザにまけないぞ！

寒さの厳しい季節になりました。インフルエンザが流行しているニュースも耳にします。学級の子どもたちがインフルエンザに負けず、元気に冬を乗り切れるよう、学級でできることを子どもたちと確認しましょう。



子どもたちと確認したいこと

① こまめに空気を入れ替えよう！

教室の中でウイルスや細菌が元気に動き回ります。新しい空気インフルエンザのウイルスを追い出そう。

② 外で遊んだら、必ず手洗い・うがいを！

元気な体が一番強い。バランスよく食べ、たくさん学び、遊び、しっかり寝て、寒さに負けない体をつくらう。特に外へ出た後は、手洗い・うがいを忘れずに。

③ 朝、お家の人と体調チェックを忘れずに！



<コラム>

マスクを付けることはインフルエンザ対策にどのような効果があるの？



インフルエンザVSマスク

大きさが0.1 μmのインフルエンザウイルスは、1 μmのマスクの網目を簡単に通過してしまいます。しかし、水分を含んでいる咳のウイルスは、5 μm以上となりマスクで捕捉されます。

【マスクの効果】

- ① 飛び散ったウイルスの侵入を防ぐ。
- ② ウイルスなどが付いている手で、直接鼻や口を触る機会を減らす。
- ③ のどに潤いを与え、乾燥を防ぐことで、ウイルスを排除する力を持続させる。

しっかりと、口と鼻を覆うよう、マスクを正しくつけましょう

